



心も体も元気なふなぼりーと

令和8年 9月号 園だより

江戸川区立船堀幼稚園

—教育目標—
元気な子ども
明るい子ども
考える子ども
思いやりのある子ども

園長 東 美和

～総料理長の「人を育てる」とは～

長い夏休みが終わり、いよいよ2学期が始まります。夏休みの間に、子どもたちはご家族との時間やさまざまな経験を通して、心も体もひとまわり大きくなったことでしょう。久しぶりに登園してくる子どもたちの笑顔に会えることを楽しみにしています。

この夏休み、日本料理よし邑 取締役総料理長の富澤浩一氏のお話を伺う機会がありました。料理人として専門職を極めている富澤氏の『日本料理の四季』についてのお話をご紹介します。『それぞれの季節においしい「旬」の食材がある。昔から日本では、その時期に一番おいしいものをいただくことを大切にしてきた。例えばトマト。太陽の光をたっぷり浴びた旬のトマトはおいしく感じる。季節を感じながら食べることは、食べ物への興味を持つだけでなく、日本の四季や自然の恵みを感じることもつながる』というお話でした。幼稚園で、季節の野菜を育て、収穫してすぐに食べると子どもたちは「おいしい!」と喜んでいます。旬を味わうこの経験の大切さを改めて感じました。

そしてご自身が人を育てていらっしゃる経験からのお話も興味深かったです。『今の若い人はすぐに答えを見つけようとする。答えを教えてしまえば、その場ではできるようになる。しかし、それでは自分で考える力は育たない。大人は、すぐに答えを教えなくなる気持ちを抑え、若い人が自分自身で答えにたどり着くことを信じ、育てていこう』という内容でした。幼稚園でも同じです。子どもが「どうして?」と話した時、大人がすぐに答えを教えるのではなく、「どう思う?」と問い返し、自分なりの答えを見つけるまで待つことが大切です。必要に応じて手を差し伸べたり、安心できるように支えたりすることで、最後は子ども自身が感じ、考え、選び、やってみようという意欲を育てることにつながります。

今学期も遊びや生活、様々な行事を通して、子どもが自分で感じ、考える時間を大切に、保護者の皆様と一緒に子どもたちの成長を喜び合いながら、充実した日々を送りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



キバナコスモスで
色水遊びができます!



アイの葉も生長しました



区内保育園の先生方との研修会
講師は堀内亮輔先生でした